交付運用報告書

Asset Management One

# ＤＩＡＭ中国Ａ株ファンド

追加型投信／海外／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。
さて、「ＤＩＡＭ中国Ａ株ファンド」は、2018年12月17日に第８期の決算を行いました。
当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所に上場している中国株に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。
当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2017年12月19日～2018年12月17日

| | |
|---|---|
| 第８期 | 決算日：2018年12月17日 |

| | | |
|---|---|---|
| 第８期末（2018年12月17日） | 基準価額 | 13,753円 |
| | 純資産総額 | 649百万円 |
| 第８期 | 騰落率 | △21.3% |
| | 分配金合計 | 0円 |

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 0120-104-694
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）

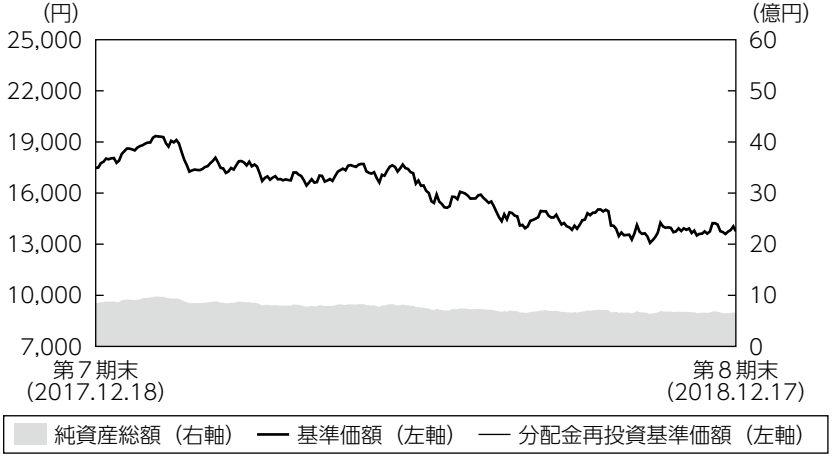
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2　http://www.am-one.co.jp/

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移




第８期首：　17,470円
第８期末：　13,753円
（既払分配金０円）
騰　落　率：　△21.3%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

中国の経済指標が2018年後半以降に減速傾向となったことや米中貿易摩擦への懸念、新興国全般に対する投資家心理の悪化等を背景に、中国本土および香港株式市場は下落基調で推移しました。中国政府による財政・金融政策を通じた景気刺激策の発表が好感されたものの、反発は一時的でした。また為替市場において人民元が下落し、基準価額は下落しました。

**◆組入ファンドの当作成期間の騰落率**

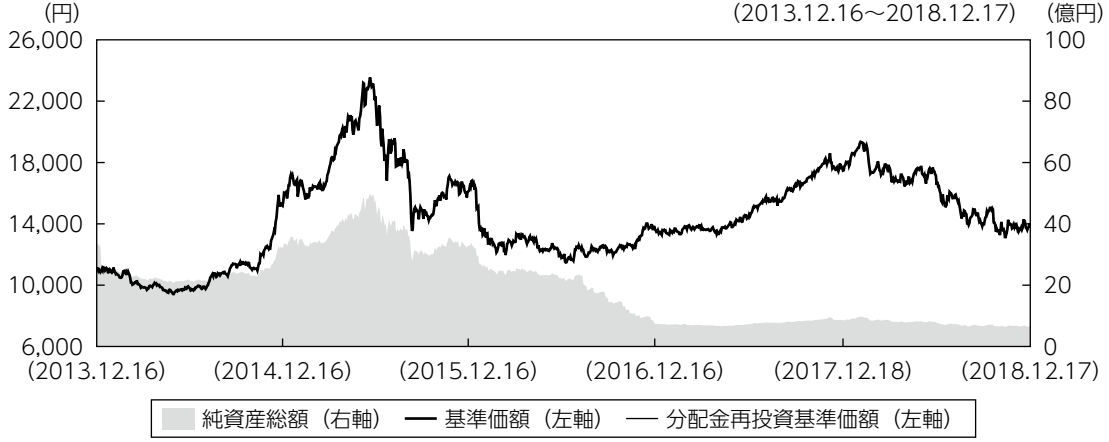
| 組入ファンド | 騰落率 |
|---|---|
| ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド | △21.3% |
| ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド | △16.3% |

## １万口当たりの費用明細

| 項目 | 第８期<br>(2017年12月19日<br>～2018年12月17日) | | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (ａ) 信託報酬 | 329円 | 2.046% | (ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は16,066円です。 |
| (投信会社) | (156) | (0.969) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (156) | (0.969) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託銀行) | ( 17) | (0.108) | 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (ｂ) 売買委託手数料 | 32 | 0.201 | (ｂ) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | ( 32) | (0.201) | |
| (ｃ) 有価証券取引税 | 16 | 0.100 | (ｃ) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | ( 16) | (0.100) | |
| (ｄ) その他費用 | 105 | 0.652 | (ｄ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (104) | (0.645) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | ( 1) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | ( 1) | (0.003) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用 |
| 合計 | 482 | 2.999 | |

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近５年間の基準価額等の推移




（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2013年12月16日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2013年12月16日<br>期首 | 2014年12月16日<br>決算日 | 2015年12月16日<br>決算日 | 2016年12月16日<br>決算日 | 2017年12月18日<br>決算日 | 2018年12月17日<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額（分配落）　(円) | 11,162 | 15,170 | 16,117 | 13,661 | 17,470 | 13,753 |
| 期間分配金合計（税引前）　(円) | － | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率　(%) | － | 35.9 | 6.2 | △15.2 | 27.9 | △21.3 |
| 純資産総額　(百万円) | 3,395 | 3,213 | 3,287 | 747 | 850 | 649 |

（注）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

## 投資環境

中国株式市場は、期初から2018年１月にかけては中国の堅調なマクロ経済指標や企業業績を背景に上昇しましたが、２月は米国の長期金利上昇に伴い世界的に株式市場が軟調となったことから利益確定売りにより下落しました。その後一進一退の展開となりましたが、６月以降は中国のマクロ経済指標が減速に転じたことや米中貿易摩擦の激化が懸念され、期末にかけて下落基調で推移しました。中国人民銀行による数回の預金準備率の引き下げの発表や、政府によるインフラ投資や減税を中心とした景気下支え策への期待の高まりにより上昇する局面もありましたが、いずれも一時的な反発にとどまりました。

為替市場では、ドル／円は、期初から2018年３月にかけては、米財務長官によるドル安を容認する発言や米国の通商政策を巡る不透明感などから円高ドル安の展開となりました。その後は原油高に伴うインフレ期待の高まりや、米金利上昇を受けて米ドル安の修正が進み、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）が金融政策の正常化を緩やかに進めるとの見方から円安ドル高基調となりました。期末にかけては、米金利低下を受けて円の買戻しが優勢となり、前期末とほぼ同水準に終わりました。香港ドルは米ドルに連動するように固定されているため、対香港ドルでも前期末とほぼ同水準となりました。一方人民元については、６月中旬以降に中国経済や米中貿易摩擦に対する懸念を背景にドルに対して下落し、その後は１ドル＝７元近辺に向かって人民元安が進行する展開となりました。

## ポートフォリオについて

●当ファンド

ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド70～80％、ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド20～30％を基本配分比率とし、概ねこの割合となるよう、各マザーファンドの組入れを行いました。

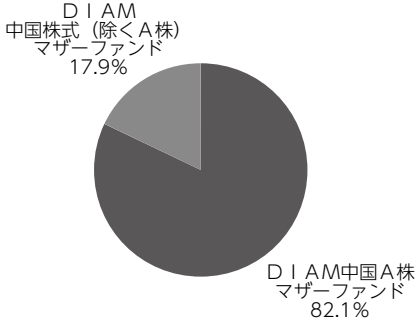
●ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド

銘柄選択については、次世代の中国経済の成長を担っていくと思われるテクノロジー、インターネット、ヘルスケア、環境関連といったセクターに注目し、好業績銘柄への選別投資を行いました。当期は、当局による信用リスク抑制政策の影響を受けると考えられる金融セクターや景気減速の影響が懸念される素材セクターを削減しました。一方で、個別銘柄の業績に基づき、情報技術、ヘルスケアセクターのウェイトを積み増しました。

●ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド

銘柄選択については、次世代の中国経済の成長を担っていくと思われるテクノロジー、インターネット、環境関連といったセクターに注目し、好業績銘柄への重点投資を継続しました。中間層の所得増加に伴う消費のアップグレードといった構造的な変化を成長ドライバーとするヘルスケア、教育サービス関連銘柄に積極的に投資を行いました。

○マザーファンド組入比率　※組入比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。



## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

| 項目 | | 当期<br>2017年12月19日<br>～2018年12月17日 |
|---|---|---|
| 当期分配金（税引前） | | －円 |
| 対基準価額比率 | | －％ |
| | 当期の収益 | －円 |
| | 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | | 6,192円 |

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、中国Ａ株の実質組入比率が70％程度以上となるよう、ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンドへの投資を行います。また、ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンドへの投資も行い、実質的な株式の組入比率については高位を維持します。

●ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンドおよびＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド

中国経済に関しては、足元で減速が指摘されるものの、当局が政策を通じてバランスを取った経済運営をするという基本感を勘案すると急激な底割れはしないものと想定しています。また過去数年は過剰生産能力と過剰債務の圧縮といった構造改革へ取り組み、中国政府が経済成長の「質」を重視するスタンスが明確となっており、これらは長期的に産業構造の健全化と効率性の改善に寄与すると見ています。そうした中、株式市場については短期的には米中貿易摩擦や米金利上昇を受けた新興国からの資金流出への懸念などから変動性が高い状態が続く可能性がありますが、当マザーファンドでは長期を見据え、次世代の中国経済を牽引していくと思われる個人消費、情報技術、インターネット、ヘルスケアなどの産業に注目し、将来有望な企業への投資を継続していく方針です。

## お知らせ

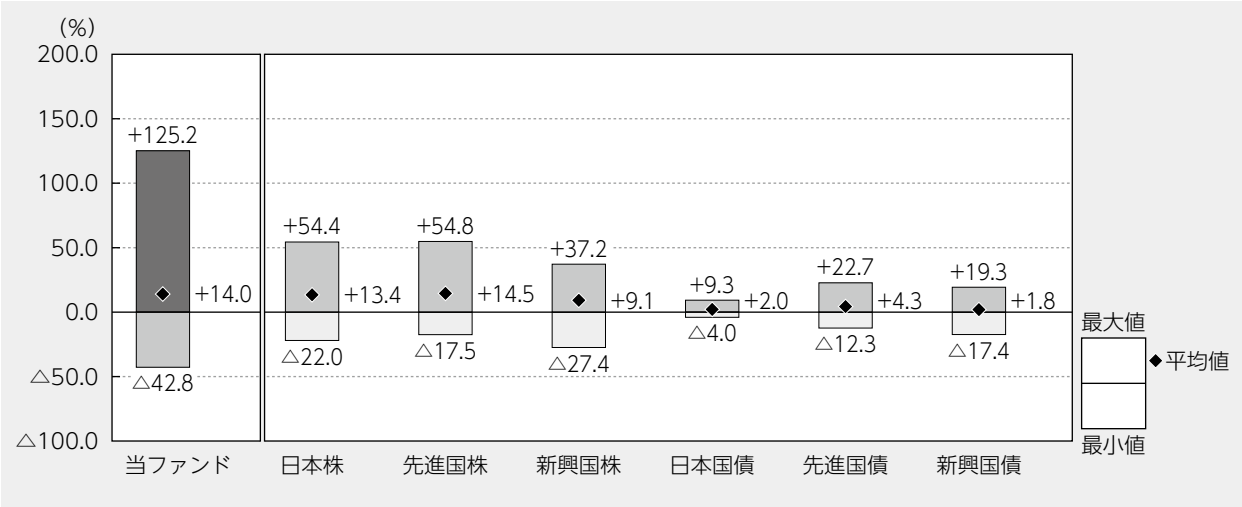
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド」、「ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド」において、信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

（2018年３月17日）

## 当ファンドの概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 2010年12月30日から2020年12月16日までです。 | |
| 運用方針 | ファミリーファンド方式により、信託財産の成長をめざして運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | ＤＩＡＭ中国Ａ株ファンド | ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド受益証券およびＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド | 中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の人民元建株式を主要投資対象とします。 |
| | ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド | 中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国株に投資します。<br>中国Ａ株の実質組入比率は、原則として通常時には純資産総額70％程度以上を維持することをめざします。<br>実質的な株式の組入比率は、原則として高位を保つこととします。<br>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 | |
| 分配方針 | 決算日（原則として12月16日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 | |

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較




2013年12月～2018年11月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

# 当ファンドのデータ

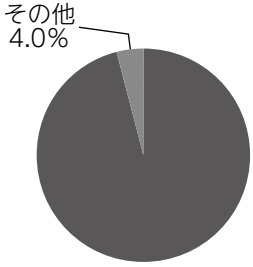
## 当ファンドの組入資産の内容（2018年12月17日現在）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：２ファンド）

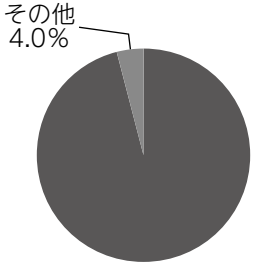
| | 当期末 |
|---|---|
| | 2018年12月17日 |
| ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド | 78.8% |
| ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド | 17.2 |
| その他 | 4.0 |

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

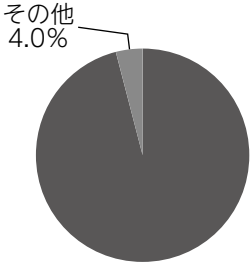
◆資産別配分




◆国別配分




◆通貨別配分




（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

## 純資産等

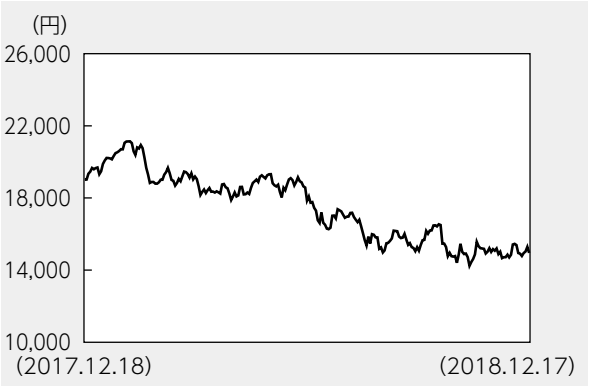
| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| | 2018年12月17日 |
| 純資産総額 | 649,913,977円 |
| 受益権総口数 | 472,546,865口 |
| 1万口当たり基準価額 | 13,753円 |

（注）当期中における追加設定元本額は95,729,989円、同解約元本額は110,019,898円です。

## 組入ファンドの概要

**［ＤＩＡＭ中国Ａ株マザーファンド］**（計算期間　2017年12月19日～2018年12月17日）

◆基準価額の推移



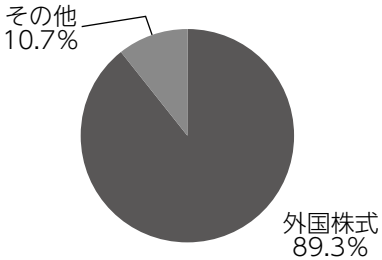

◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|
| PING AN INSURANCE GROUP CHINA | 中国・元 | 8.1% |
| KWEICHOW MOUTAI CO LTD | 中国・元 | 3.9 |
| CHINA MERCHANTS BANK CO LTD | 中国・元 | 3.6 |
| JIANGSU HENGRUI MEDICINE CO LTD | 中国・元 | 3.0 |
| CHINA INTERNATIONAL TRAVEL | 中国・元 | 2.7 |
| INDUSTRIAL BANK CO LTD | 中国・元 | 2.1 |
| INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL | 中国・元 | 2.0 |
| MIDEA GROUP CO LTD | 中国・元 | 2.0 |
| INDUSTRIAL & COMMERCIAL BK OF CHINA | 中国・元 | 2.0 |
| CHINA YANGTZE POWER CO LTD | 中国・元 | 2.0 |
| 組入銘柄数 | 76銘柄 | |

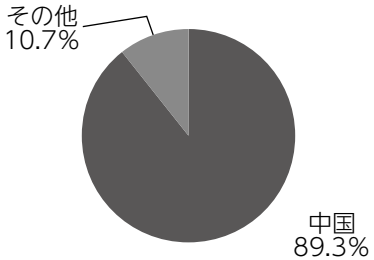
◆１万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | |
|---|---|---|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 | 34円 | 0.195% |
| (株式) | ( 34) | (0.195) |
| (b) 有価証券取引税 | 18 | 0.101 |
| (株式) | ( 18) | (0.101) |
| (c) その他費用 | 97 | 0.555 |
| (保管費用) | ( 97) | (0.553) |
| (その他) | ( 0) | (0.002) |
| 合計 | 149 | 0.851 |

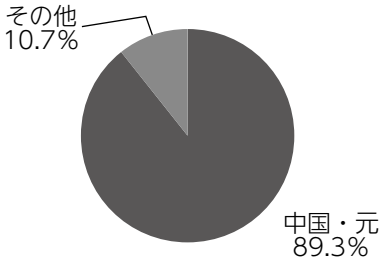
◆資産別配分




◆国別配分



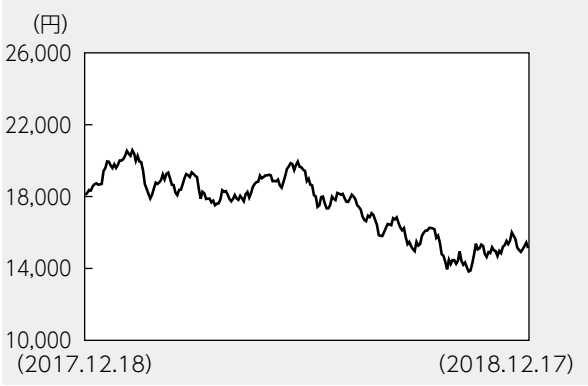

◆通貨別配分




（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）１万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（17,462円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については２ページ（１万口当たりの費用明細）をご参照ください。
（注３）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）国別配分については、発行国（地域）で分類しています。
（注５）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注６）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
（注７）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ［ＤＩＡＭ中国株式（除くＡ株）マザーファンド］（計算期間　2017年12月19日～2018年12月17日）

### ◆基準価額の推移



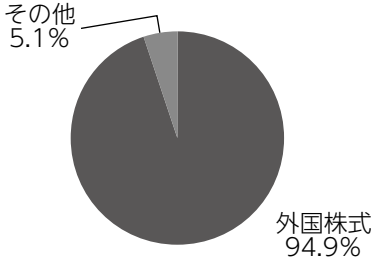

### ◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|
| TENCENT HOLDINGS LTD | 香港・ドル | 17.3% |
| ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR | アメリカ・ドル | 14.6 |
| CHINA CONSTRUCTION BANK | 香港・ドル | 5.1 |
| PING AN INSURANCE GROUP CO-H | 香港・ドル | 4.8 |
| IND & COMM BK OF CHINA - H | 香港・ドル | 3.4 |
| SHENZHEN EXPRESSWAY CO LTD | 香港・ドル | 2.9 |
| NEW ORIENTAL EDUCATION & TECH | アメリカ・ドル | 2.7 |
| BANK OF CHINA LTD | 香港・ドル | 2.6 |
| HKBN LTD | 香港・ドル | 2.4 |
| PETRO CHINA CO LTD | 香港・ドル | 2.4 |
| 組入銘柄数 | 40銘柄 | |

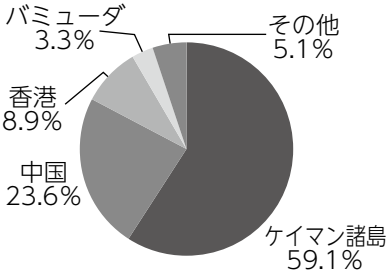
### ◆１万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | |
|---|---|---|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料<br>(株式) | 48円<br>( 48) | 0.276%<br>(0.276) |
| (b) 有価証券取引税<br>(株式) | 21<br>( 21) | 0.118<br>(0.118) |
| (c) その他費用<br>(保管費用)<br>(その他) | 217<br>(215)<br>( 2) | 1.241<br>(1.232)<br>(0.009) |
| 合計 | 286 | 1.635 |

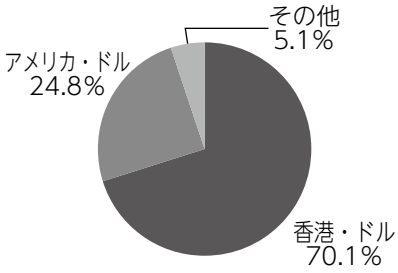
### ◆資産別配分




### ◆国別配分




### ◆通貨別配分




（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）１万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（17,472円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については２ページ（１万口当たりの費用明細）をご参照ください。
（注３）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）国別配分については、発行国（地域）で分類しています。
（注５）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注６）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
（注７）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）

（このページは白紙です）

Asset
Management
One